

「L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討」

パーキンソン病ならびにパーキンソン症候群の患者様の内服治療においては L-dopa 製剤が中心となります。当院では血液中の dopa 濃度と、患者様の症状の経時的変化で L-dopa 製剤の効果を評価する「L-dopa テスト」を診療の一環として行っています。L-dopa 製剤の吸収は個人差が大きく、また服薬条件によってその効果変動しますので、一人ひとりにあわせたオーダーメイドの治療を行うために、このような検査をして診療に生かしています。

この度 2004 年 4 月から 2019 年 3 月までの期間に当科で行った L-dopa テストの結果および治療結果をまとめて解析する研究「L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討」を開始することにいたしました。皆様一人ひとりの結果をその方の治療に生かすだけでなく、多数の方の L-dopa テストの結果をまとめて解析することで、すでに検査をされた方にもまだまだ検査をされていない方にも有益な情報を得ることができ、当院のみでなく多くの患者さんの薬物調整に役立たせることができると考えています。この研究では検査の結果にその他の診療情報を加えて解析いたしますが、それらがどなたの情報なのかはわからない形にして解析します。ですから、皆様のプライバシーが侵されるなど、皆様にご迷惑がかかることはございません。なお本研究は厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針に従って内容を公開いたします。

当院で入院中に L-dopa テストを受けられた方で、この研究にご自分のデータを使ってほしくないとお考えの方や、ご質問等あります方は下記までご連絡ください。

平成 25 年 2 月

本研究に関する問い合わせ

〒187-8551

東京都小平市小川東町四丁目 1 番 1 号

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院

電話番号 042-341-2711

病院長

パーキンソン病・運動障害疾患センター長 村田 美穂

苦情等の窓口に関する連絡先

〒187-8551

東京都小平市小川東町四丁目 1 番 1 号

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : rinri-jimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)